

# JSL カリキュラム 4 年社会科学習指導案

〇〇市立〇〇小学校

## 1 単元名 古い道具と昔の暮らし

### 2 対象

#### (1) 子どもの実態

- ・ 出身国：ブラジル
- ・ 母語：ポルトガル語
- ・ 滞日歴：2 年半
- ・ 就学年月 10 ヶ月

#### (2) 子どもの現在学習する力（レディネス）

##### 〈 日本語の力 〉

##### ① 聞く力・話す力

休み時間には友達や先生と話せるようになり、自然に日常会話もできるようになってきた。受身ではあるが、コミュニケーションをとることができる。

##### ② 読む力

読書が好きで、進んで本を借りてきて読んでいる。絵本からだんだん活字の多い本に変化してきた。3 年生程度の漢字は大体読めるが、訓読みの使い分けが難しい。新出漢字や難しい漢字にはルビを打ち、音読を繰り返し練習し自信をつけてきた。擬態語や学習言語の抽象的な語句の意味を理解したり、文意を把握したりすることは困難で、支援が必要である。

##### ③ 書く力

初期指導で平仮名・カタカナを習得し、2 年生程度の漢字はほぼ書くことができる。3 年の漢字はまだ定着してない部分もあるが、別室個別指導で復習している。日々の漢字書き取りテストでは、家庭で繰り返し練習をしてくるので正しく書けるようになってきた。日記や作文を書くことが好きで、進んで書いてくる。接続詞を使った長い文章で自分の考えや思いを表現できる。助詞の使い方が不安定なときがある。

##### 〈 教科の知識・スキル 〉

出身国の昔の暮らしについての知識は、祖父母から見聞きし、断片的に知っている。社会科の授業では、絵や写真、図やグラフなどの資料を活用した学習には意欲的に取り組むが、「資源」「しよ理」「用水」「えいきょう」「原料」「部品」など、抽象的な学習言語の理解が難しい。学習内容によって別室個別指導をすることがある。

#### (3) 教材観

本単元は、自分たちの身近にある昔の道具・家屋・服装等を調べることを通して、当時の人々の暮らしぶりをイメージ豊かにとらえさせること、今とは違う、変わったという事実をしっかりと認識させること、当時の人々の願いや工夫・努力について理解させることをねらいとしている。ただ、4 年生にとって、昔の自然の様子や暮らしぶりを理解するのは容易ではないので、児童が具体的に目に見え、しかも、現在の物と機能を比較しやすい物を取り上げる必要がある。地域の人の話や道具の実演を組み入れることにより、児童自らが今と昔の違いを理解し、当時の人々の願いや思いについて考えられるであろう。何事にも興味・関心を強く示すこの時期の児童にとって、祖父母の時代の生活は、児童の探究心をかきたてるのには、十分な素材である。

#### (4) 外国人児童に対する指導方法

- ・ 在籍学級との連携を密にするために、学習の計画や様子について情報交換をする。
- ・ 発問は、AUカードを意識した分かりやすい言葉にし、ゆっくりと明確に話すようにする。
- ・ 初めて出会う日本語の言葉について、絵や翻訳で理解できるように前もって準備をする。
- ・ 児童にとって効果が得られるように、適宜、別室個別指導と同室複数指導を行う。
- ・ 具体的な挿絵や年表、グラフなどの資料、発見カードやワークシートの活用、昔の道具で体験活動をしたりして歴史背景に関心をもたせる。さらに、昔と今の違いや先人の苦勞・工夫に気づかせる。

### 3 単元目標

- 昔と今の道具の違いを通して、昔と今では人々のくらしの様子が変化してきていることを理解するとともに、現在の自分たちの歴史的背景に関心をもつ。
- 古い道具の様子や使い方を具体的に調べ、古い道具には昔の人々の知恵と工夫があらわれていることに気づき、当時の人々は生活の向上を願ってきたことを考える。

### 4 評価規準

- 【関心・意欲・態度】 古い道具やその使い方、当時の生活の様子を進んで調べ、現在の自分たちの歴史的背景に関心をもつ。
- 【思考・判断】 昔と今の道具の違いから、昔と今の生活の違いや、当時の人々の願いについて具体的に考えることができる。
- 【技能・表現】 古い道具調べをすることができ、そこでわかったことや自分で考えたことを、カードや年表に工夫して表現することができる。
- 【知識・理解】 地域の人々のくらしが変化していることや、人々がよりよいくらしを願ってきたことが理解できる。

### 5 単元計画（全7時間）

- 第1次 昔のくらしについて調べよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間（本時）
- 第2次 地域（家、資料館など）で古い道具を調べる・・・・・・・・・・2時間
- 第3次 古い道具を体験してみる・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 第4次 道具のうつりかわり・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間

### 6 本時の学習（第1次第2時）

#### (1) 目標

- 教科の目標
  - ・ 教科書の挿絵による古い道具探しやそのころの生活の様子の発表を通して、古い道具を使っていたころ人たちのくらしに関心をもつことができる。
- 日本語の目標
  - ・ 「これは、～です。～するときに使う道具です。」という日本語表現で発表することができる。（AUカード-K10「絵や図等で表現する」）

(2) 準備物 プロジェクター 教材提示装置 スクリーン ワークシート 昔の道具 (数点)  
ことば絵じてん

(3) 授業展開

	学 習 活 動	主なやりとり	支 援
つ か む	1 学習のめあてをつかむ。		
	2 見つけた昔の道具やそのころのくらしについてわかったことを発表し合う。	<p>身近に見つけた昔の道具を発表しよう。</p> <p>T 1 : 昔のどんな道具を見つけましたか。</p> <p>C 1 : わたしは、家で洗濯する板を見つけました。</p> <p>C 2 : :ぼくは、大きな釜を見つけました。</p> <p>T 1 : 昔の様子でわかることは何ですか。</p> <p>C 2 : 昔は、かまどの火でご飯を作っていたと思います。</p> <p>C 3 : 手で洗濯するのは、大変だったと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの児童が調べてきたことを事前に把握しておき、関連した発表ができるように指名計画を立てておく。</li> <li>写真や実物の道具を持ってきた児童には、使い方や家の人に聞いた話を前に出てきて発表させる。</li> </ul>
調 べ る	3 挿絵を見て、いろいろな昔の道具や物をさがし、ワークシートに記入する。(P.48~P.49)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具や物の名前</li> <li>服装</li> <li>使い方</li> <li>今とちがう所</li> <li>感想や質問</li> </ul>	<p>絵の中から昔の道具を見つけよう。</p> <p>T 1 : 挿絵を見てください。どんな道具がありますか。何をするときに使いますか。(AU : K - 6)</p> <p>ワークシートに書きましょう。</p> <p>T 1 : 家で見つけてきた人は、そのことを書いてもいいですよ。</p> <p>T 2 : (机間指導 : 挿絵を押さえて)この道具は何でしょう。何に使いますか。</p> <p>T 2 : この服装は今と同じですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵をプロジェクターで拡大し、提示する。</li> <li>ワークシートの書き方を説明する。</li> <li>挿絵だけでなく、自分の家にある物や家の人に聞いた話などにも話題が広がるようにする。</li> <li>道具だけでなく仕事の様子についても気づかせ、当時の人々のくらしの特色をつかませる。</li> <li>ワークシートになかなか記入できない場合は、挿絵の子どもの服装や「石臼を使っている子ども」に着目させ、助言する。</li> </ul>
ま と め る	4 ワークシートを使って、見つけた道具について発表し合う。	<p>T 1 : ワークシートに書いたことを、みんなに発表しましょう。</p> <p>C : これは、～です。～するときに使う道具です。(AU : K - 10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前に出て、ワークシートを見ながら教材提示装置を使って発表をさせる。</li> </ul>

## 【評価】

- ・ 古い道具やその使い方に関心をもつことができたか。
- ・ 古い道具の使い方やそれを使っていた頃のくらしの様子を、家の人に聞いて調べることができたか。
- ・ 見つけた道具の名前や使い方について、わかるように説明することができたか。

## 7 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 昔の道具の実物や教材提示装置を使った挿絵などの教材・教具を活用したことで、興味や関心をもって授業に集中し、内容理解を促すことができた。
- ・ 文化の違いから、昔の道具について学習するのは難しいのでは…と心配した。しかし、日本から移住された祖父母の家にも挿絵と同じ「せんたく板」「いど」などもあり、自ら見つけてワークシートに書くことができた。また、皆の前で発表することができて自信をつけるとともに、楽しく授業に参加することができた。



### (2) 課題

- ・ 日本語の不十分さを補うために、指導者の発問や、説明のために使用する言語を選択したりしていく必要があると感じた。
- ・ 異なる社会文化的背景下で獲得した知識や経験を生かせる工夫をしていく。